

令和3年度 専門学校デジタルアーツ東京

自己評価報告

令和4年3月31日

 青森学院

専門学校 **デジタルアーツ** 東京

目 次

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) . 教育理念・目標
- (2) . 学校運営
- (3) . 教育活動
- (4) . 学修成果
- (5) . 学生支援
- (6) . 教育環境
- (7) . 学生の受け入れ募集
- (8) . 財務
- (9) . 法令等の遵守

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエイター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

① 課題

前年度に比べ新型コロナに対する考え方も変化し、さまざまなイベントも行われるようになってきたが、まだまだ各業界との連携を取り実践的な経験を学生にさせるところまでは至っていない。

② 今後の改善方策

実際に現場で体験するオフラインの企業連携だけでなく、オンラインでのインターンシップなどを実施する方法も検討したい。少しでも企業連携を実施することで学生のキャリアに対する意識を向上させていく。

③ 特記事項

令和3年度の入学式・卒業式は学生、教職員のみで実施しました。コロナ禍の開催で時間の短縮や席間隔を空けるなどの対策を行い特に混乱もなく執り行うことができました。また保護者に対しては、オンラインライブにて式典の様子を配信しました。

(2) . 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

新型コロナウイルス感染防止に努めながら十分な教育レベルを確保するため如何に対面での授業を継続するか念頭に学校運営を行っている。ただしコロナ対策が長期にわたり慣れてしまっている部分もあり、如何に緊張感を維持していくかが課題である。

② 今後の改善方策

対面授業を基本としながらもオンライン授業に切り替えが可能な学科については、状況に応じてオンラインでの在宅授業に切り替えた。今後も感染者に対する聞き取りをしながら状況に合わせた対応を行っていく。

③ 特記事項

保健所による濃厚接触者の追跡が行われなくなりつつあり、学校での判断で出席停止等の手当てをしている。学内のクラスターに繋がらないよう迅速な対応を心掛けている。

(3) . 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

（業界のニーズに沿うよう実践的なカリキュラム、シラバスを作成し、学生個々のレベルアップに繋げている。ただし、キャリアに対する意識が低い学生も増加しており、職業意識を植え付ける難しさも感じている。）

② 今後の改善方策

（企業と連携し特別講座等を開催、最先端の技術を学ぶとともに、各業界でのキャリアの進め方を理解させ職業意識の向上に努める。また、ビジネスマナーを身につけることで社会での実践力を磨いていく。）

③ 特記事項

令和2年度は中止とした学園祭「DATフェスタ」を令和3年度は開催した。実施することに対する不安もあったが、これまで多くの制約を受ける中での学校生活を強いられてきた学生たちの生き生きとした姿を見られたのは良かった。次年度も感染予防対策を万全にして実施していきたい。

(4) . 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題

不登校などを経験していたり精神的な病気の症状により、出席状況が不安定になる学生も多い。その中から退学に至るケースもあり、学生個々に合わせた対応で未然に防ぎたい。

② 今後の改善方策

出席率低下が退学につながるため、長期欠席に繋がる兆候が見えた際には迅速に対応し、問題解決の糸口を学生本人や保護者と話し合いの中で見つけていく。

③ 特記事項

スクールカウンセラーによる教員向けの研修会を実施し、現代の若者にみられる心の問題などに対する関わり方の勉強会を実施している。

(5) . 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

新型コロナウイルスによる影響で経済的に厳しい家庭も出ている。学費の納入などの部分で問題を抱えている学生もあり、退学に至らないように如何に対応するかが課題となっている。

② 今後の改善方策

学生支援機構奨学金の専任担当を付け、入学前の予約採用者から新規申込者対応まで行っている。学生が持つ経済的な不安を取り除き、安心して通学できる体制を整えていきたい。

③ 特記事項

精神的に不安定な状態で入学を迎える学生も見られる。スクールカウンセラーの対応時間を延長し、より手厚い対応が可能となった。中途退学者をできるだけ出さないよ担任と協力し対応していきたい。

(6) . 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

新型コロナウイルス感染予防のため夜間教室開放などで学生が自由に設備を使うことができなくなっている。自宅での作業ができる環境の整わない学生の作品制作に少なからず影響が出ている。

② 今後の改善方策

自宅での制作環境の必要性を説明するとともに、学生個々の状況に合わせ機材選択の相談に対応していく。また、学校推薦機材の選定など学生が安心して購入できる体制を整えていきたい。

③ 特記事項

令和4年度に向けアニメ実習教室の機材を更新する。3DCGや映像編集の授業で効果を発揮することが見込まれる。

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

学生募集を行う上では入学希望者に対し「体験入学」「学校説明会」に来校してもらうことが大切であるが、コロナ禍の中でどのように参加者や教職員の安全を確保しながら実施していくかの対策が重要である。

② 今後の改善方策

1回あたりの参加者数の上限を設ける等ソーシャルディスタンスに配慮した形式で実施するとともに、オンラインでの学校説明会や個別での相談の受付等、さまざまな形での募集活動を行っていく。

③ 特記事項

〔 高校で行われる進路ガイダンスもオンラインでの開催が増加。説明する相手のことが対面に比べ分かりづらい分、事前準備が重要である。学校を理解してもらえるような資料作りに力を入れて対応している。 〕

(8) . 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

①課題

〔 特になし。 〕

②今後の改善方策

〔 財務に関する情報は、ホームページ上に情報公開している。今後も必要に応じてホームページ上に情報公開していく。 〕

③特記事項

〔 特になし。 〕

(9) . 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
・ 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

{ 特になし。

}

② 今後の改善方策

{ 特になし。

}

③ 特記事項

{ 特になし。

}